

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 29 年 4 月 13 日 (2017.4.13)

【公開番号】特開 2015-181810 (P2015-181810A)  
 【公開日】平成 27 年 10 月 22 日 (2015.10.22)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-065  
 【出願番号】特願 2014-62405 (P2014-62405)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 3 月 9 日 (2017.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

任意の画像を表示可能な画像表示手段と、

発光表示手段とを備え、

前記発光表示手段は、前記画像表示手段の前側に位置する導光板と、前記導光板の端縁側に配置された一又は複数の発光素子と、前記導光板に設けられ且つ前記発光素子から前記導光板に入射して所定方向に進む光を前記導光板の一面側に反射する複数の反射部とを備えた

遊技機において、

前記端縁の長手方向における全範囲を、前記所定方向に前記反射部が位置する第 1 範囲とそれ以外の第 2 範囲とで構成し、

前記第 1 範囲内に前記発光素子を配置し、前記第 2 範囲には前記発光素子を配置せず、

第 1 のエラーが発生した場合には、前記発光表示手段を用いた報知は行わない一方、

第 2 のエラーが発生した場合には、前記発光表示手段を用いた報知を行うように構成し

た

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明は、任意の画像を表示可能な画像表示手段 4 1 と、発光表示手段 4 4 とを備え、

前記発光表示手段 4 4 は、前記画像表示手段 4 1 の前側に位置する導光板 7 1 と、前記導光板 7 1 の端縁側に配置された一又は複数の発光素子 7 2 と、前記導光板 7 1 に設けられ且つ前記発光素子 7 2 から前記導光板 7 1 に入射して所定方向に進む光を前記導光板 7 1 の一面側に反射する複数の反射部 7 4 とを備えた遊技機において、前記端縁の長手方向における全範囲を、前記所定方向に前記反射部 7 4 が位置する第 1 範囲とそれ以外の第 2 範囲とで構成し、前記第 1 範囲内に前記発光素子 7 2 を配置し、前記第 2 範囲には前記発光素子 7 2 を配置せず、第 1 のエラーが発生した場合には、前記発光表示手段 4 4 を用いた

報知は行わない一方、第２のエラーが発生した場合には、前記発光表示手段４４を用いた報知を行うように構成したものである。

また、導光板 7 1 , 1 1 1 , 1 1 2 , 1 6 1 と、前記導光板 7 1 , 1 1 1 , 1 1 2 , 1 6 1 の端面 7 1 a , 7 1 b , 1 1 1 a , 1 1 1 b , 1 1 2 a , 1 1 2 b , 1 6 1 a に対向する一又は複数の発光素子 7 2 , 7 3 , 1 3 2 ~ 1 3 5 , 1 4 5 , 1 4 6 , 1 6 5 と、前記導光板 7 1 , 1 1 1 , 1 1 2 , 1 6 1 に設けられ且つ前記端面 7 1 a , 7 1 b , 1 1 1 a , 1 1 1 b , 1 1 2 a , 1 1 2 b , 1 6 1 a から入射した前記発光素子 7 2 , 7 3 , 1 3 2 ~ 1 3 5 , 1 4 5 , 1 4 6 , 1 6 5 からの光を前記導光板 7 1 , 1 1 1 , 1 1 2 , 1 6 1 の一面側に反射する複数の反射部 7 4 とを備えた遊技機において、前記反射部 7 4 の集合体よりなる反射集合体 8 1 a ~ 8 1 d , 1 3 1 a ~ 1 3 1 z , 1 5 1 a ~ 1 5 1 d , 1 6 4 を一又は複数設け、前記反射集合体 8 1 a ~ 8 1 d , 1 3 1 a ~ 1 3 1 z , 1 5 1 a ~ 1 5 1 d , 1 6 4 は、その長手方向が前記発光素子 7 2 , 7 3 , 1 3 2 ~ 1 3 5 , 1 4 5 , 1 4 6 , 1 6 5 からの光の照射方向と略一致するものを含むように構成してもよい。